知って得する、ちょっと差がつく

トリビア・コーナー

トリビア研究家　末崎　孝幸

末崎　孝幸氏
1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興證券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員（調査本部長）を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。

かえで（の語源）

紅葉といえば「かえで」だが、この「かえで」は葉の形がカエルの手に似ていることから、昔は「蛙手（かへるて）」と呼ばれ、平安時代頃から「かへで」となり、「かえで」となったのである。紅葉の代表種であるイロハモミジはカエデ属の落葉高木であり、「イロハカエデ」とも呼ばれている。

蛇足ながら、「イロハモミジ」の「イロハ」は葉っぱを「いろはにほへと・・・」と数えたことに由来している。

木村屋のあんぱんと明治天皇のエピソード

木村屋總本店の創業者・木村安兵衛は江戸末期、山岡鉄舟と剣術を通じた友人であった。明治7年、安兵衛は西洋のパンとは異なる酒種を使い、その生地であんを包んで焼き上げた「あんぱん」を作りあげた。それを友人の山岡鉄舟が食べたところ、鉄舟の舌をうならせる美味であったという。当時、山岡鉄舟は明治天皇の侍従として仕えており、このあんぱんを「陛下に召し上がっていただこう」と思い、明治8年献上した。この桜の花びらが埋め込まれたあんぱんは明治天皇のお気に召し、また皇后陛下のお口にもあったという。ここから山岡鉄舟が明治天皇にあんぱんを献上した4月4日を「あんぱんの日」として記念日に認定されたのである。

（追記）1．山岡鉄舟は木村屋の看板を揮毫している。残念ながら鉄舟直筆の看板は関東大震災で焼失してしまったが、その筆跡は銀座本店などで見ることができる。

Copyright　ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社
発行人：岡本和久、発行：I-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社
URL: http://www.i-owa.com；E-mail: info@i-owa.com

2. 幕臣であった山岡鉄舟は明治新政府に仕える意思はなかったものの、西郷隆盛のたっての願いから明治5年から10年の約束で明治天皇の侍従として仕えることになり、天皇の人格形成に大きな影響を与えている。

この容器の名前は？

パンや野菜などにかける片手で簡単に開けることができる写真のような容器、この名前は「ディスペンパック（dispenpak）」という。dispense（分配する、施す）と pak（充填する、包装する）を組み合わせた造語で、（株）ディスペンパックジャパンが製造している。

元々は米国のサンフォード・レッドモンド社が 1983 年に開発したもので、日本では 1986 年にキユーピー（51%）、三菱商事（39%）、三菱商事パッケージング（10%）の合弁事業として（株）ディスペンパックジャパンを創業し、製造販売している。国内シェアは 100%。

なお、フランクフルト等にかける「トマト＆マスタード」など 2 種類の物を同時に出せる商品は、日本にしかないパッケージである。

がま口（の由来）

金属製の口金を持つ布袋状の財布を「がま口」と言うが、これはガマガエルのように大きく開く「口」（開口部）を持つためである。

がま口は日本独自のものという印象があるかもしれないが、実は明治期に日本にやってきた舶来品だ。明治政府の御用商人だった山城屋和助は、明治4年兵器を輸入して陸海軍に納入する条件で、政府から借金をして欧州に渡った。その時に、当時のフランスで流行していた西洋式のがま口の鞄や財布を持ち帰り、それらを模倣して売り出した。これが日本でのがま口の始まりといわれている。

※山城屋和助は明治時代の陸軍省の御用商人（元奇兵隊隊士）。長州人脈を生かして財を成したが、明治5年公金不正融資事件に関与し割腹自殺した。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社

古市公威（こうい）留学時のエピソード

今年は地震、豪雨、台風と自然災害で多くの人命や財産が失われてしまった。こうした被害は一刻も早い国土強靭化が求められるわが国で、緊縮財政派が招いた人災という側面もあったのではなかろうか。

こうした中で想起されるのは、明治時代に土木建設こそが「国造りの要」だと土木事業を推進した古市公威のことだ。若き古市が土木工学を学ぶため、フランスに留学していたときのエピソードがある。高熱にうなされながらも大学に行こうとする古市に、下宿先の女主人が「今日一日くらい休んだら？」と声をかけた。古市は「僕の勉強が一日でも遅れると、祖国・日本の国造りがそれだけ遅れるのです」と答えた。ここにも坂の上の雲を目指した明治の気骨がいたのである。

「土木は国造りの要」は現在でも変わっていないと思う。政府には早急な国土強靭化推進が急がれよう。

（蛇足ながら）三島由紀夫の本名「公威（きみたけ）」は内務官僚であった祖父・平岡定太郎が恩顧を受けた古市公威の名をとって命名したものである。

・写真は東大本郷の工学部内にある古市公威の像（Wikipedia より）。

惻隠の情

近年、死語になった感のある言葉の一つがこの「惻隠の情」である。元々は孟子の言葉「惻隠の心は仁の端なり」からきているものだが、「他人の悲しみや不幸を、自分のこととして受け止める」という意味だ。換言すれば、相手の立場に立って、ものごとを感じとるということである。2011年の東日本大震災の時には「絆」という言葉がよく聞かれたが、「惻隠の情」は「絆」に通底する言葉なのかもしれない。

また、「惻隠の情」は戦後失われた「武士道精神」の中核をなすものでもあり、私が一番復権してほしいと願っている言葉である。

Copyright ⓒI-O ウェルス・アドバイザーズ株式会社